

令和8年第1回定例会 提案理由説明書（二月二十七日追加提案）

ただ今追加提案しました議案は、第五十二号議案から第六十二号議案までの十一件であります。

その主なものとして、第五十二号議案 令和七年度大分県一般会計補正予算（第五号）について、説明申し上げます。

先日、提案いたしました令和八年度一般会計当初予算案に加え、今回の補正では、国の補正予算を積極的に受け入れ、物価高騰や人手不足への対応、災害への備えを一段と充実するとともに、「安心・元気・未来創造ビジョン2024」の実現に向けた来年度の取組を前倒しして実施いたします。以下、主要な内容を説明申し上げます。

（物価高騰・人手不足への対応）

まず、物価高騰や人手不足の影響を大きく受ける、医療・福祉分野への対応です。国の補正予算において、今年六月の報酬改定までの対応として「医療・介護等緊急支援パッケージ」が措置され、病院へは国が直接、賃上げや物価高騰に伴う負担軽減を実施しています。県としては、国の直接支援の対象外となる診療所などの医療機関や、介護サービス事業所等に対し、職員の賃上げ相当額の支給を行うとともに、診療材料費の負担軽減など、事業継続に必要な対応を講じてまいります。また、これまで独自に累次の緊急対策を実施してきた社会福祉施設等に対し、国の支援策を補完し、電気代や食材費等の上昇分の一部を引き続き助成することで運営を下支えします。

加えて、病院や介護現場の深刻な人手不足に対応するため、ICT機器や介護ロボット等の導入を促進し、業務の効率化と働きやすい環境づくりを進めることで、人材の確保・定着を図ってまいります。

産業面では、企業の経営環境の変化を踏まえた支援が重要となります。物価高騰や賃上げを背景に高まる保証料率ゼロの県制度資金の需要増加に確実に対応できるよう、保証料補助の財源となる基金を造成し、制度の安定運用を通じて、中小企業の資金調達を支えてまいります。

（災害への備え）

県民の命と暮らしを守るため、災害に強い県土づくりも一段と前に進めます。昨年の十二月補正に続き、国の「第一次国土強靱化実施中期計画」関連予算を受け入れ、河川改修や砂防・治山対策、防災重点農業用ため池の耐震化などに集中的に取り組めます。また、災害発生直後の円滑な救援・復旧に不可欠な優先啓開ルートについて、落石対策等を着実に進めるとともに、日田山国道路など、高規格道路の整備促進により代替経路の確保を図り、交通ネットワークの面でも災害への備えを厚くしてまいります。

大規模災害発災時の受援体制も強化します。応援部隊が円滑に活動・宿営できる環境を整備するため、脱炭素先行地域に選定された広域防災拠点である大分スポーツ公園エリアにおいて、太陽光発電設備や高効率給湯設備等の導入を進めます。また、避難所における良好な生活環境の確保に向け、テント型パーティションの備蓄を進め、いざという時に、避難者の心身の安心につながる備えを充実させてまいります。

加えて、足元では少雨による渇水リスクも顕在化していることから、農業用水確保に向け、土地改良区等が取り組むボーリング工事や揚水ポンプの導入などを支援してまいります。

（ビジョン２０２４の取組の前倒し）

併せて、事業効果の早期発現を図るため、ビジョン２０２４の取組を前倒しし、観光や農業などの成長産業化を加速してまいります。

観光産業の持続的な発展には、旺盛なインバウンド需要を取り込むことが重要となりますが、酷暑の影響を受ける夏場の誘客が課題となっています。一方、県内には、高原や滝、鍾乳洞など、夏でも涼しく過ごせる魅力的な観光資源が数多くあります。そこで、この強みを生かし「クールサマーインおおいた」として、大分の涼を楽しむ旅を国内外に向けて展開いたします。さらに、観光事業者等の暑さ対策を支援することで、夏季の誘客を強化してまいります。

農業では生産基盤の底上げを図ります。園芸産地の規模拡大に向けた水田の畑地化等を推進するとともに、輸入飼料の高騰などの影響を受ける畜産農家の経営安定のため、自給飼料用作物の生産拡大や、牧草の高温耐性品種への転換を支援します。

また、林業では、早生樹による再生林を推進するため、採穂園の造成や、苗木の増産に必要な施設整備等を助成し、森林資源の循環利用を促進してまいります。

（補正予算の額）

以上が歳出の主な増額分ですが、他方、今年度の災害発生状況に応じた災害復旧費の不用見込みや、県制度資金の執行状況を踏まえた所要額の精査、及び予算執行段階における節約等の結果、補正予算額の合計は、九十億四千五百三十六万三千円の減額となります。

このほか、特別会計では、公債管理特別会計など九会計で合わせて、四億五百四十万八千円を減額するとともに、病院事業会計では、国の緊急支援パッケージ予算の受け入れなどにより、六億七千八百七十一万四千円を増額します。

以上をもちまして、提出しました議案の説明を終わります。

何とぞ、慎重御審議の上、御賛同いただきますようお願い申し上げます。